

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	利用者に対する言葉遣い、言動に不適切なケアが見られる。	基本とする事ケアに対する振り返りを行いながら良いケアを行っていく。	皆で問題点(言葉遣い、言動に)協議行い皆で共有し改善に図り日々のケアに注意していく。	3ヶ月
2	49	外出支援コロナ禍の中で出来ていない。	車中からでもいいので外出を増やしていきたい。	感染対策の徹底を行い、密を避け車中から見学できるように外出支援をしていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	利用者に対する言葉遣いや言動等をはじめ、不適切なケアが見られることがある。また、介助時に腕を持った跡が見られることがある。	虐待に繋がりがかねない不適切なケアをなくす。介助をする際に跡がつかないような工夫や介護技術を身につける。	不適切なケアをなくしていくためにまずは言葉遣いや言動に注意していく。介助時に握った跡がついてしまう利用者はなぜそうなってしまうのか協議し、工夫すること介助の方法を話し合うことで、日々のケアの場面に役立てる。	6ヶ月
2	13	新人研修においてマニュアルというものがなく、実戦でのトレーニングが主となっている。また、以前在籍者向けにオンライン研修を導入したが、意欲ある数名だけが活用していた。どのように学ぶ機会をつくっていくかとモチベーションの維持向上が課題である。	新人研修に関してはマニュアルが必要であり、作成して活用するようにする。職員研修は定期的な機会を設けることで初心に帰ることが出来る等、ケアの向上に繋げる。	具体的な新人研修マニュアルを作成し、どの時期に何を教育していくのかを明確にする。新人からベテラン職員まで研修機会をつくる。事業者内でも介護の基本など振り返る機会を作っていく。	12ヶ月
3	36 ～ 38	職員主体の介護になってしまっていることがある。業務に追われることで利用者の希望や自己決定、その人らしい暮らしの支援が難しい時がある。	一人ひとりを尊重し、パーソンセンタードケアの精神を基に介護を行う。	利用者の希望や自己決定、その人らしい暮らしの為に、一人ひとりのペースを大切にす。そのために業務内容の整備や最適化を行い、時間の確保が必要になる。	3ヶ月
4	35	年2回、火災に対する防災訓練を行っているが、地震や大雨等を想定した訓練も必要である。	地震や大雨等を想定した訓練を行う。	ハザードマップや避難場所の確保を行い、どのような避難するのか等、防災マニュアルに記載し、訓練を実施する。	12ヶ月
5	51	コロナ禍における家族や友人とのつながりの希薄化。	コロナウイルスの状況を見極め、家族や友人との繋がりを支援する。	状況により、窓越しの面会や距離を確保した面会を行い、面会の機会の確保と繋がりの強化を図る。また、状況が悪化した際の対面方法(リモート等)を作っていくことが必要。タブレット等の購入を検討していく。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。